

平成20年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野健康開発事業団						
①	指標名	職域健康診断の実施件数			目標値	2,100	実績値	2,000件
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	95.2%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 件)	1,945	1,919	1,996				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①前年度に受診実績のあった事業所に対し受診勧奨を行った。 ②ホームページでのPRを実施した。また、市民講演会等でパンフレットを配布し周知した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①新規の利用は4事業所であり、前年度利用の事業所への受診勧奨及びホームページ、市民講演会等での継続的な周知のみでは、新規の事業所に対するPRが不足していたと考える。 ②労働安全衛生規則に基づく定期健康診断未実施の事業所は市内に多数あると思われ、そのような事業所に対し周知及び受診勧奨をしていく取り組みが必要であるため、今後は、情報誌への掲載等の積極的な広報について検討実施していくこととしたい。 ③前年度受診実績のある事業所だけでなく、前々年度以前に実績があり、現在利用のない事業所についても案内を送付する。							
二次評価	引き続きPRに努められたい。併せて、実施日の拡大など事業の実施方法についても検討し、目標達成について努めること。							
②	指標名	管理運営費支出の減			目標値	9,300千円	実績値	10,222千円
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	91.0%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 千円)	9,050	10,093	10,314				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ① 予算執行にあたっては、できるだけ競争を行い、安価なものを購入した。 ② 購入は最小限とし、無駄な支出がないように、その都度出納責任者及び会計事務責任者が精査した。 ③ 削減目標を全職員に周知し、職場全体でコスト削減に取り組んだ。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①ファイリングシステムの導入、銀行取引オンラインサービスの開始等による委託料の増(約85万円)等新規の要因があったため、19年度実績は下回ったものの目標値である10%減は達成することができなかった。 ②21年度予算においても、技師等の学会費の一部を自己負担とするなど経費の削減に努めている。							
二次評価	委託料が増加した中で前年度実績を下回ったことは評価できる。今後も管理運営費は最小限とする努力を進める一方で、経費削減はほぼ限界に近くっており、他方で収入の増に向けて一層の効率的な事業運営に努めること。							
③	指標名	目標管理の実施			目標値	100%	実績値	63.6%
	過去の実績	平成17年度	平成18年度	平成19年度	達成率	63.6%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> ・達成
	(単位: 人) 各年3月31日現在	未実施	未実施	63.6%				
	取組内容	※20年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ○市の派遣職員を除く全職員に、担当業務のほかに経営改革プランに掲げられた項目及び20年度に取組まなければならない課題の中から一つを選んで、プロジェクトチームに参加する等自主的に取り組みを行わせた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ①対象職員11名のうち、平成21年3月までに完全に達成したと評価できる者が7名(63.6%)、未達成が4名(36.4%)であった。 ②4名の未達成原因は、自主取り組みとしたためプロジェクトやワーキングチームの構成員となったものの、個人として達成への意識が低かったともあると考えられる。 ③21年度は目標達成へのモチベーションを高めるため、組織目標を設定し共通の上位目標を全員に意識させて取り組ませる。また、複数の目標設定者も完全達成を1名の達成基準としているため、評価方法についても検討したい。							
二次評価	本目標は2年目となったが、実績は目標を達成できず前年同様の数値である。目標管理の手法及び評価方法の検討とともに、人材育成の観点から、人事考課制度への反映について日常の業務マネジメントと一体化した検討を進める必要がある。							